

Japan Display Inc.

2025年度 第1四半期
決算説明資料

2025年8月8日

株式会社 ジャパンディスプレイ



PersonalTech For A Better World

- 7月のいちごへの知財子会社株式の譲渡により、当面の資金を確保
- 知財子会社株式の譲渡、及び今後の茂原工場資産の譲渡による利益計上により、財務健全性の回復を見込む
- 固定費の大幅低減と事業効率化に向けて構造改革を着実に推進中、事業ポートフォリオの再構築も順調に進展
- FY26の黒字化を確実に達成し、持続的な成長基盤を構築する



Japan Display Inc.

2025年度第1四半期 業績報告

(億円)	FY24 1Q 会計期間	FY25 1Q 会計期間	YoY
売上高	559	324	-235
民生・産業機器	223	63	-160
車載	336	262	-75
EBITDA	△60	△81	-21
営業利益	△70	△92	-21
営業外収益	6	2	-4
営業外費用	△14	△31	-16
経常利益	△79	△120	-41
特別利益	17	0	-17
特別損失	△1	△80	-79
税引前四半期純利益	△62	△200	-137
四半期純利益	△65	△203	-138
(ご参考)			
平均為替レート (円/米ドル)	155.9	144.6	

■ 売上高

茂原工場での生産終了に向けた生産調整、及び鳥取工場での生産終了等により減収

■ EBITDA/営業利益

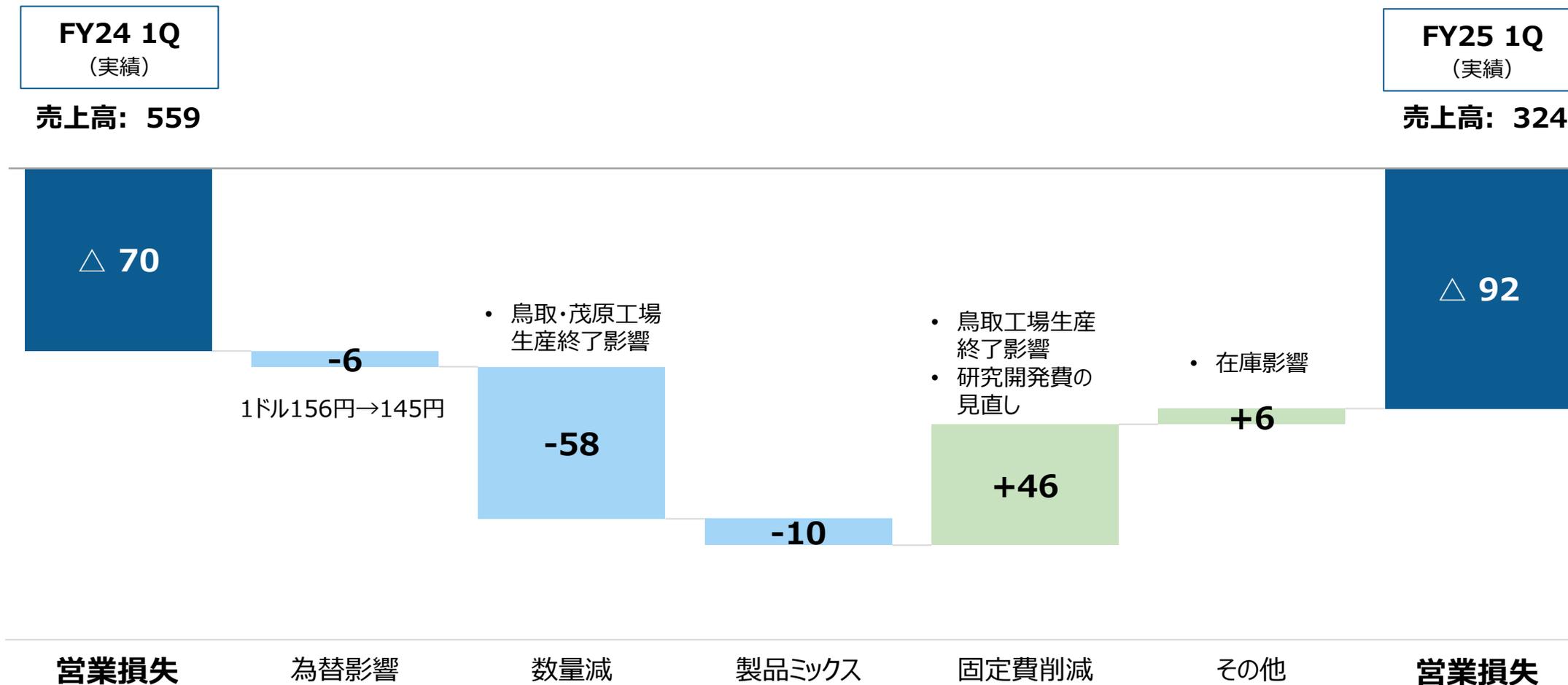
鳥取工場での生産終了による工場経費削減や研究開発費の見直し等のコスト削減を行ったものの、売上高減少の影響が大きく減益

■ 四半期純利益

茂原工場での生産終了関連費用、及び希望退職者募集に係る費用の一部を事業構造改善費用（特別損失、76億円）として計上

前年同期比

(億円)



(億円)	FY24 期末	FY25 1Q	前年度比
現金及び預金	211	282	+71
売掛金	228	165	-64
在庫	441	391	-50
その他流動資産	122	112	-10
流動資産合計	1,002	949	-52
固定資産合計	479	465	-14
資産合計	1,480	1,414	-66
買掛金	282	220	-62
有利子負債	610	664	+54
前受金	72	195	+123
その他負債	447	464	+17
負債合計	1,411	1,544	+132
純資産合計	69	△130	-199

■ 資産

鳥取工場での生産終了、茂原工場の出荷減少により、売掛金や在庫が減少

■ 負債

鳥取工場での生産終了により買掛金が減少した一方、子会社株式譲渡及び茂原工場の製造装置譲渡に係る前受金、事業構造改善引当金、短期借入金が増加

■ 純資産

四半期純損失の計上により純資産がマイナス。資産譲渡による利益計上で解消を見込む

いちごトラストとの追加資本提携契約締結及び資産売却

施策	目的・効果
<p>1 第14回新株予約権をいちごトラストに割当て (総額964億円, 行使価額 1株当たり25円) - 25年6月25日契約締結、7月15日割当実行 - 第13回新株予約権の全部を放棄</p>	<p>安定的な事業継続に向けた運転資金の拡充 BEYOND DISPLAY戦略の実現に向けた成長資金確保</p>
<p>2 保有する知財の売却 - 25年6月25日契約締結、7月30日譲渡実行</p>	<p>当面の運転資金を確保 譲渡益の計上により資本を増強 (支配株主との取引であるため、譲渡益認識時期を慎重に精査中)</p>
<p>3 保有する不動産の売却 (茂原工場) - 25年9月下旬以降最終契約締結・譲渡実行</p>	<p>既存借入金の返済原資確保 譲渡益の計上により資本を増強 (支配株主との取引となるため、譲渡益認識時期は売却時より後になる見込み)</p>
<p>4 上記売却資金でいちごトラストからの借入金650億円を返済</p>	<p>負債圧縮、利息負担の軽減</p>

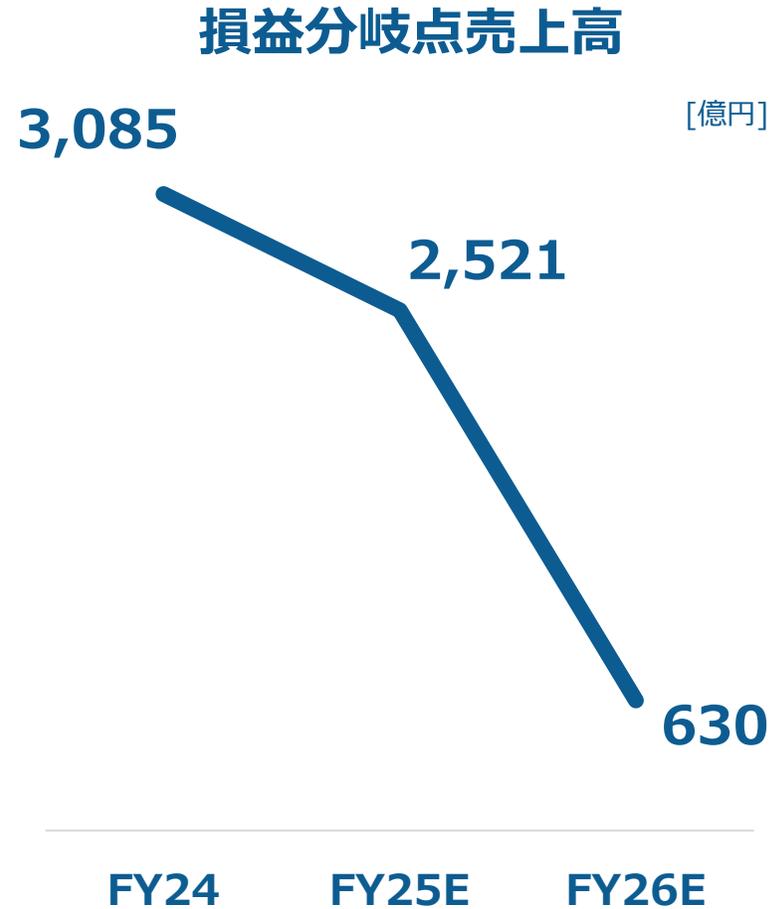
- **財務状況の改善に向けた各種経営施策の実現時期や具体的内容により、業績の大幅な変動が予想されるため、FY25の業績予想は引き続き非開示**
- **今後、以下を含む主要施策の確定を踏まえ、FY25業績予想を公表予定**
 - **いちごトラストへの茂原工場資産の譲渡による借入金返済**
 - **車載事業の子会社化による他社との協業の進展**
 - **希望退職者募集による事業規模に応じた組織・人員体制の構築**
 - **ファブレス化等、BEYOND DISPLAY戦略推進**



Japan Display Inc.

新生JDIに向けての進捗状況

コスト削減と収益向上施策の効果により損益分岐点を大幅低減し、黒字化実現を図る



財務体質の改善に加え、事業組織の効率化・最適化を目的とした 構造改革を推進

フォーカストピック:

① 茂原工場の生産終了

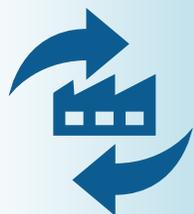
② 希望退職者の募集による人員削減

③ 子会社「株式会社AutoTech」設立

茂原工場のパネル生産を前倒して終了予定 収益性向上と財務基盤強化に向け、早期の生産終了及び資産売却を推進



計画的かつ効率的に生産を行い、生産終了時期を当初予定の2026年3月から本年内へ前倒し



生産終了前倒しにより、費用削減とAIデータセンター転用を早期に実現



研究開発装置を石川工場へ移設し、MULTI-FAB化を加速

希望退職者1,500名程度の募集に対し、応募者数は募集人数に到達する見込み。
人員縮小に合わせて10月1日付で大幅な組織変更を実施予定

人員削減の概要

国内における希望退職者の募集

① 募集人数	1,500名程度（2025年3月31日現在の国内従業員数2,639名）
② 募集対象者	当社正規雇用従業員及び契約社員（全拠点対象）
③ 募集期間	2025年6月16日～2025年8月25日（予定）

**JDIの新戦略は、ディスプレイ専門メーカーからBEYOND DISPLAYへの進化
この戦略を実現し、競争力を強化するためには、これまで以上に大きな戦略的転換が必要**



Auto-
Tech

**車載事業を子会社化し、独立した柔軟な経営体制を持つ
「株式会社AutoTech」を2025年10月1日付で
設立することを決定**

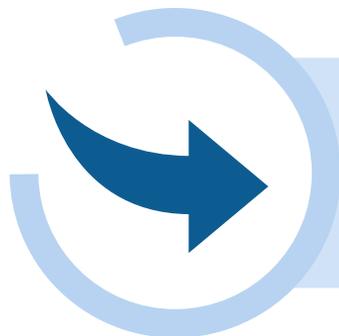
これにより、JDIの車載事業は以下を達成：

-  **独立した経営判断と迅速な意思決定**
-  **外部資金調達の可能性拡大**
-  **他社との協業を含む将来の戦略的選択肢の拡大**

車載事業の子会社化実施に向け、戦略検討・組織・人員体制再編、サプライチェーン整備、ガバナンス体制構築を推進中



2025年6月開催の株主総会において、
車載事業の子会社化を決議

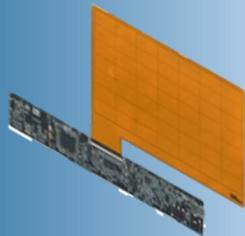


2025年10月1日付の子会社化実施に向け、
社内体制整備と外部対応を加速中

FY26は茂原工場生産終了により売上減少も、 コスト削減と収益向上施策の効果により黒字化を実現

施策	内容	利益改善額（見込）
BEYOND DISPLAY戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディスプレイのミックス改善 ・ センサー販売増加 ・ 半導体パッケージング事業効果 	124億円
固定費削減（工場・人員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茂原工場生産終了 ・ 鳥取工場生産終了 ・ 人件費削減 	464億円
固定費削減（物流・販管費）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流費減少 ・ 販管費削減 	100億円
合計		688億円

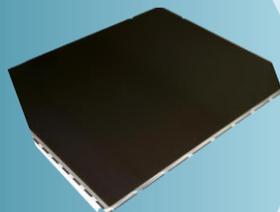
ZINNSIA 入力・IoT センサー



- ✓ アミューズメント領域やロボティクス領域を中心に活発な商談が進展中。今年度中の売上計上を目指す
- ✓ 北米のセンサー展示会に出展し、世界市場への本格展開に向けたプロモーションを開始



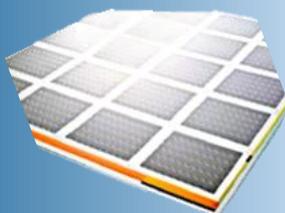
医療用 X線センサー ライフ・サイエンス センサー



- ✓ 従来はa-Siで製造していたX線センサーを酸化物半導体(OS)に切り替え、より高感度な製品を石川工場の開発完了



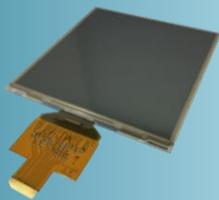
指紋 センサー セキュリティ・IOT センサー



- ✓ 米国FBI PIV認定の指紋認証カテゴリーのひとつであるFAP50対応製品を開発完了し、量産開始済み
- ✓ 従来のFAP10, 20, 30製品から着実に製品ラインナップを拡大中



SOLTIMO ライフ・サイエンス センサー

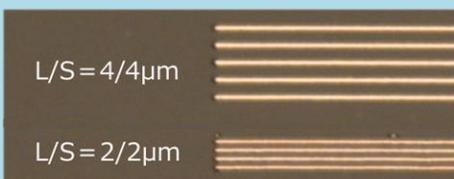


- ✓ シャーレ上での培養検査を効率化するセンサーを生産開始済み
- ✓ 解析ソフトウェアも含めたサービスを提供中



ディスプレイ生産で培った技術の応用と、パートナーとの協業 による先端半導体パッケージングへの市場参入

台湾 PanelSemi社と共同で
先端半導体パッケージングを開発中



世界初 セラミック基板上に
Line & Space=2μm/2μmの
高精細銅配線を実現

あらゆる素材に高精細RDL配線を形成することで、消費電力や発熱に伴う問題を解消。
生成AI普及によって拡大する市場、高集積化ニーズへの対応を目指す





FTSE Index

FTSE Blossom Japan Index及びFTSE Blossom Japan Sector Relative Index

構成銘柄に継続選定 URL: [FTSE Index選定](#)



センサーを利用したヘルスケア・セキュリティ領域への貢献

X線センサー

高感度なセンサーの提供により低被爆なX線撮像装置で医療技術の進歩に貢献

指紋センサー

FAP10, 30, 50対応の製品で選挙不正防止、警察等機関において行方不明者等の迅速な身元確認など、社会のセキュリティーインフラに貢献



ユニバーサル・コミュニケーション支援

Raelclear

2025年11月開催のデフリンピック東京への協賛企業としてRaelclearを提供し、難聴/異言語間のコミュニケーションに貢献



半導体パッケージの消費電力低減（グリーンテック）

半導体パッケージに求められる高精細配線技術を開発中

AIの活用が進む中、電力需要の増大に対し、半導体パッケージの低消費電力化に貢献

JDI

BEYOND DISPLAY



Japan Display Inc.

Appendix

(億円)	FY24 1Q 会計期間	FY25 1Q 会計期間	YoY
税引前四半期純利益	△ 62	△ 200	-137
減価償却費	10	11	+0
運転資金の増減額	83	69	-15
その他	△ 33	20	+53
営業キャッシュ・フロー	△ 1	△ 100	-99
固定資産の取得による支出	△ 19	△ 1	+18
固定資産の売却による収入	59	0	-58
資産売却に係る前受金	0	118	+118
その他	△ 6	1	+7
投資キャッシュ・フロー	34	118	+84
短期借入金の純増減額	0	55	+55
その他	△ 1	△ 1	+1
財務キャッシュ・フロー	△ 1	54	+56
期末現預金残高	333	277	-56
フリー・キャッシュ・フロー	△ 20	△ 101	-81

(注) 「フリー・キャッシュ・フロー」は、「営業キャッシュ・フロー」と「固定資産の取得による支出」の合計額です。

発表日	プレスリリース
2025/7/30	<u>(開示事項の経過・変更) 新設子会社株式の譲渡先の変更及び当該株式譲渡完了のお知らせ</u>
2025/7/18	<u>FTSE Blossom Japan Index 及びFTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に継続選定</u>
2025/6/30	<u>上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）について</u>
2025/6/30	<u>支配株主等に関する事項について</u>
2025/6/26	<u>Ichigo Trust との資本提携契約の締結及び第三者割当による第 14 回新株予約権の発行のお知らせ</u>
2025/6/26	<u>(開示事項の経過) 新設子会社への知的財産権の移管及びIchigo Trustへの当該子会社株式譲渡のお知らせ</u>
2025/6/16	<u>米国Gentex社より「サプライヤー・オブ・ザ・イヤー」を受賞</u>
2025/6/2	<u>JPCA Show 2025にて先端半導体パッケージング基板を出展</u>
2025/5/15	<u>希望退職者の募集による人員削減のお知らせ</u>
2025/5/15	<u>会社分割による子会社「株式会社AutoTech」設立のお知らせ</u>
2025/5/15	<u>代表執行役の異動、役員人事及び定款の一部変更のお知らせ</u>
2025/5/15	<u>当社の財務基盤の強化に向けたIchigo Trustとの基本合意書締結のお知らせ</u>

※ その他のプレスリリースは当社ウェブサイトのニュースページをご参照ください。 (<https://www.j-display.com/news/>)

5月開催の「Gentex 2025 サプライヤーカンファレンス」において、
ディスプレイサプライヤーとして初めて受賞

Gentex Corporation

車載フルディスプレイミラーをはじめとする自動車向け先進システムの開発、設計及び製造に特化した米国自動車部品メーカー

受賞理由

- ✓ 優れたサービス、技術サポート、安定した品質、信頼性の高い納品を通じて、卓越したパートナーシップを示したこと
- ✓ 競争の激しい市場において、多くの目標を達成し、Gentex社のR&Dチーム及び製品開発にも大きく貢献





THANK YOU

将来予測及び見通しに関して

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性および網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の個人消費その他の経済情勢、為替動向、ディスプレイを搭載するの電子機器の市場動向、主要取引先の経営方針、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。